

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)西鉄東光建物 新築工事	階数	地上4F
建設地	福岡県福岡市博多区東光2丁目275	構造	S造
用途地域	準工業地域、準防火地域	平均居住人員	5,000 人
地域区分	7地域	年間使用時間	4,380 時間/年(想定値)
建物用途	集会所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年1月 予定	評価の実施日	2019年6月20日
敷地面積	7,084 m ²	作成者	松本拓也
建築面積	4,867 m ²	確認日	2019年6月21日
延床面積	18,006 m ²	確認者	定森淳一



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.1

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.3

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.0

LR のスコア = 3.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 2.9

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.4

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
<ul style="list-style-type: none"> ・室内環境、サービス性能への配慮。 ・室外環境、敷地外環境への配慮を行う。 ・エネルギー、資源、マテリアルの確保に努めている。 		0
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
<ul style="list-style-type: none"> ・開口部遮音性能はT-2としている。 ・室温設定への配慮を行う。 ・喫煙室は負圧とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・耐震性への配慮を行う。 ・給排水管は耐用年数の長い部材を採用。 ・節水型便器、系統の分離、雑用水水槽、雨水ろ過装置等、災害時の給排水衛生設備の信頼性は高い。 ・壁長さ比率0.08とし、空間のゆとりを配慮。 	<ul style="list-style-type: none"> ・MICE開催等、経済効果への波及を図り、福岡市の活性化に寄与する。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
<ul style="list-style-type: none"> ・高性能断熱材、複層ガラスの採用等、建物の熱負荷抑制に配慮している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・節水性能に配慮している。 ・LGS地下、OAフロアの採用等、リサイクル材の活用を努めている。 ・防水工事のプライマーの採用等、化学物質の使用削減に努めている。 ・断熱材はグラスウール、発泡ウレタンノンフロン品等を採用し、フロンハロンの回避に努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・省エネ性能に配慮し、LCCO₂排出率を95%に削減する等、地球温暖化防止に努めている。 ・ガス設備設置無し等、大気汚染防止に努めている。 ・駐輪場バイク置場、バス乗降場、駐車場、出入り口2ヶ所等、交通負荷抑制に努めている。 ・チャックリスト、配慮事項の過半を満たす等、光害の

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される